

ご利用上の
注意

- 操作の詳細については、ソフトウェアのオンラインヘルプをご参照ください
- 本ガイドはOLYMPUS Stream StartとOLYMPUS Stream Basic の基本的な操作について、正立型顕微鏡BX51M（手動タイプ）とデジタルカメラDP21を使用する場合を例として説明しています
- OLYMPUS Stream Basic以上用のMicrosoft WordとMicrosoft Excellは、別途ご購入いただく必要があります

はじめに

基本機能

ライブ観察

P2

画像キャプチャー

P3

画像保存

P3

計測

P4

レポート作成

P5

! レポート作成はOLYMPUS Stream Startではご利用になれません

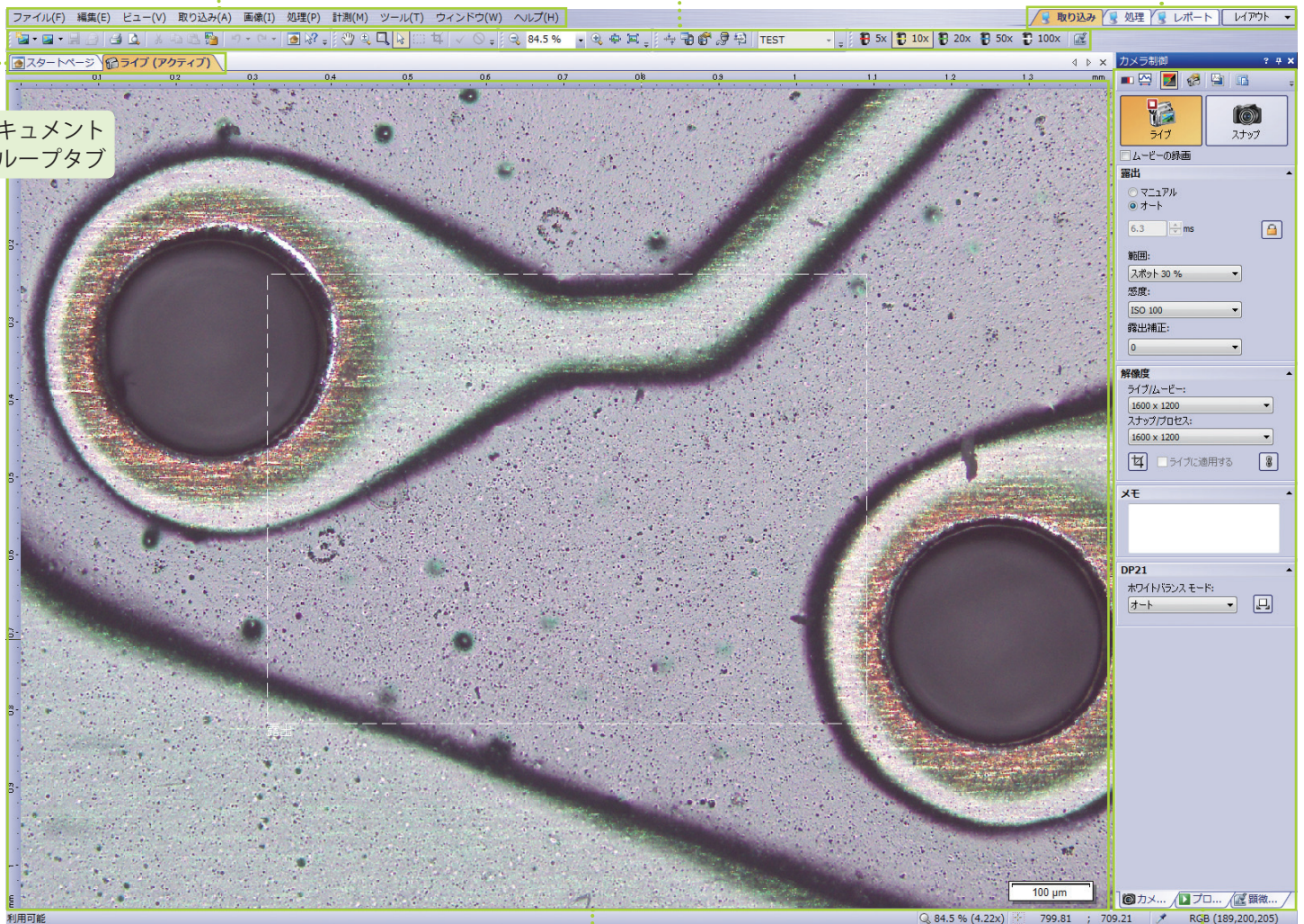
画面構成

メニューバー

ツールバー

レイアウトタブ

ドキュメント
グループタブ

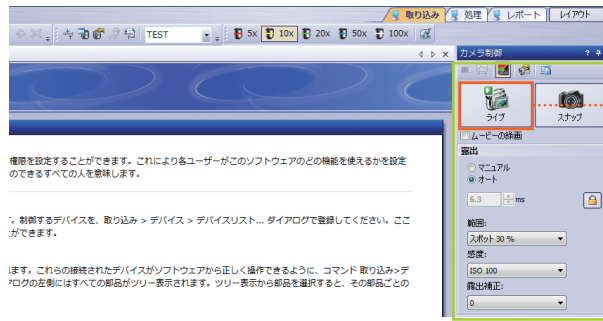


画像ウィンドウ

ツールウィンドウ

ライブ観察

1 ライブ観察を開始する



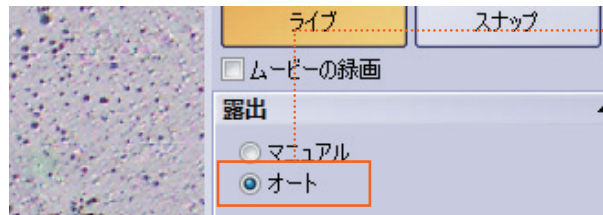
! ライブ観察を開始する前に、
接眼レンズから目視で試料を観察し、
焦点を合わせてください

[ライブ] ボタンをクリック
します

カメラ制御

・[カメラ制御] が表示されていない場
合は、[ビュー] → [ツールウィンドウ]
→ [カメラ制御] を選択します

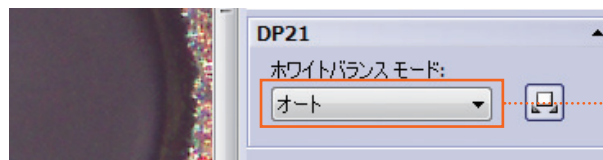
2 露出を設定する



[オート] を選択します

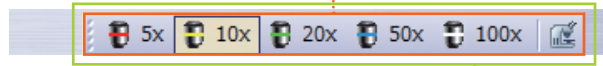
・露出時間の数値が自動的に設定され
ます

3 ホワイトバランスを設定する



適切なモードを選択します
(詳細な内容についてはオンラ
インヘルプをご覧ください)

4 顕微鏡制御を設定する



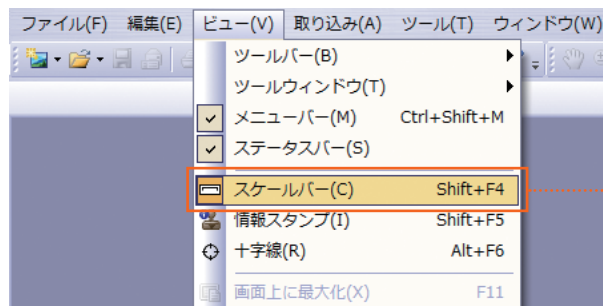
使用する倍率を選択します

・対物レンズの倍率と [顕微鏡制御]
の倍率が異なると、[スケールバー]
が正しく表示されません

顕微鏡制御

・[顕微鏡制御] が表示されていない
場合は、[ビュー] → [ツールバー]
→ [顕微鏡制御] を選択します

5 スケールバーダイアログを開く



[ビュー] → [スケールバー] を
選択します



・スケールバーが表示されます

ヒント1

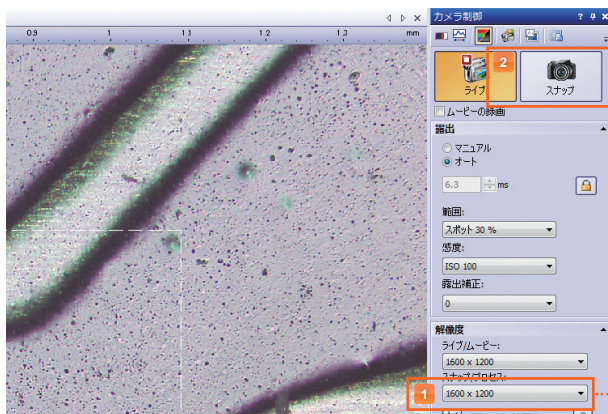
マウスホイールで画像を
拡大・縮小表示する

ヒント2

フォーカスインジケータで
焦点を合わせる

○ 画像キャプチャー

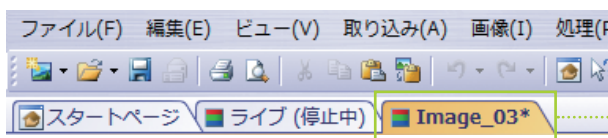
解像度を設定し、
画像をキャプチャーする



1 [解像度] を選択します

2 [スナップ] ボタンを
クリックします

• 画像がキャプチャーされます

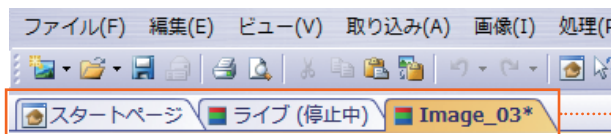


イメージタブ

• 新しいドキュメントがドキュメント
グループタブエリアに追加されます

○ 画像保存

1 保存するドキュメントを
選択する

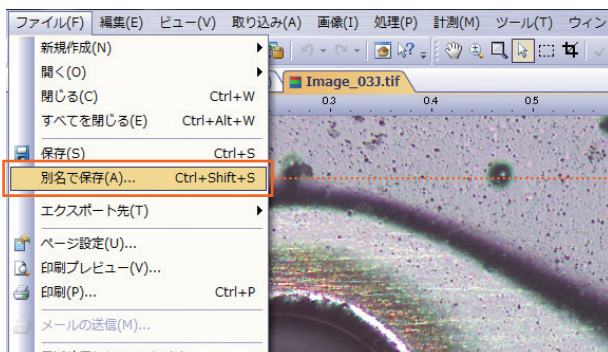


保存する画像のタブをクリック
します



ライブ画像は保存できません

2 別名で保存
ダイアログを開く



[ファイル] → [別名で保存] を選択
します

• 上書き保存をする場合はツールバー
の (保存) をクリックします

• 保存場所、ファイル名、ファイルの
種類を指定し、保存します

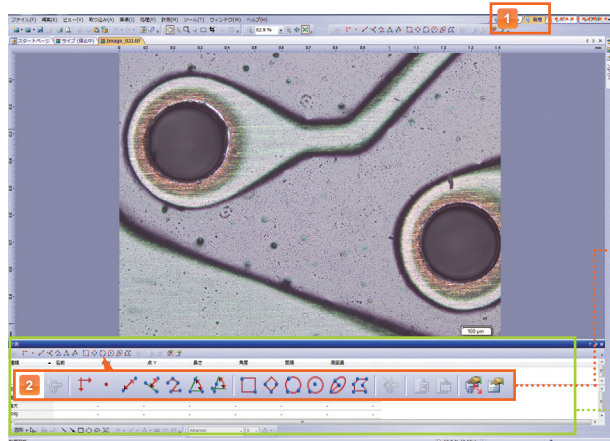
• (ファイルを開く) で保存した画
像を呼び出すことができます

ヒント3

指定フォルダへの画像保存

○ 計測

1 レイアウトを切り替え、
測定項目を選択する



1 [処理] タブをクリック
します

・画面下に [計測] が表示されます

2 [計測] から測定項目を
選択します

計測

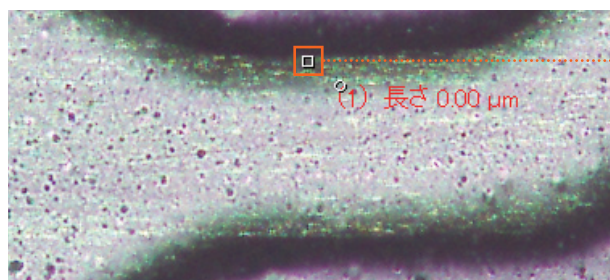
・[計測] が表示されない場合は、
[ビュー] → [ツールウィンドウ] →
[計測] を選択します

2 計測する
(例として2点間の距離を計測する)



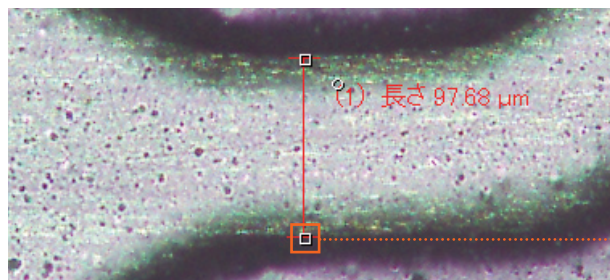
(任意の直線) をクリック
します

3 始点を決定する



始点をクリックします

4 終点を決定する



マウスを移動させ、終点を
クリックします



・計測結果が表示されます
・計測結果を削除するには、計測結果
を選択し、キーボードの [Delete]
ボタンを押します

5 計測結果をExcelや
ワークブックに出力する



!
OLYMPUS Stream Startで は、計
測結果をExcelやワークブックに出力
することはできません

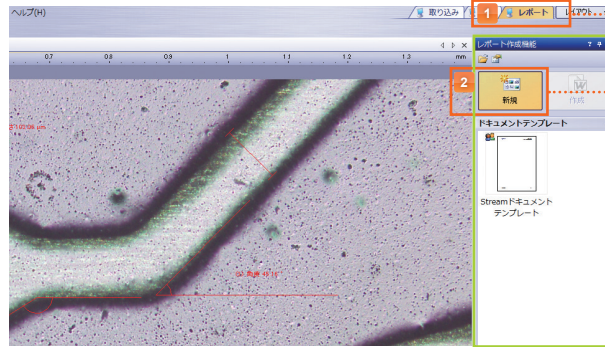
Excelへ出力する場合、
Excelにエクスポート) を
クリックします

ワークブックへ出力する場合、
ワークブックにエクスポート)
をクリックします

○ レポート作成

! レポート作成はOLYMPUS Stream Startではご使用になれません

1 レイアウトを切り替え、レポート構成を立ち上げる



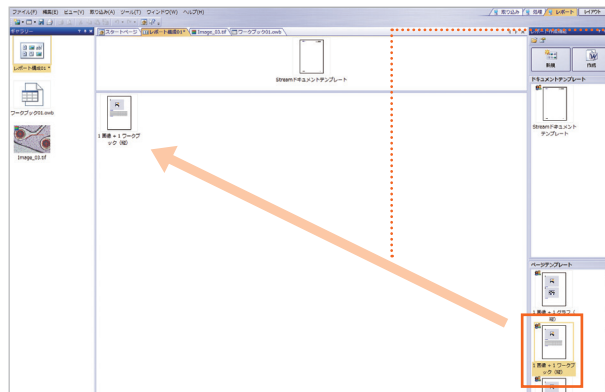
1 [レポート] タブをクリックします

2 「新規」をクリックします

レポート作成機能

・[レポート作成機能] が表示されない場合は、[ビュー] → [ツールウィンドウ] → [レポート作成機能] を選択します

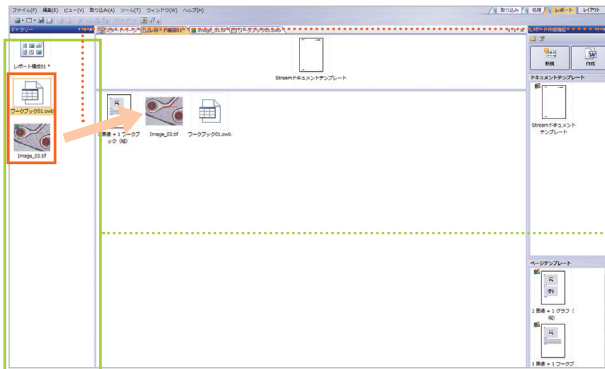
2 ページテンプレートからテンプレートを選択する



使用するテンプレートを選択し、ドラッグ&ドロップで移動させます

- ・画像やグラフ、ワークブックを組み合わせてレポートを作成します
- ・あらかじめ下記のページテンプレートが用意されています（条件設定で、他のテンプレートも作成できます）
 - ①1画像 + 1グラフ（縦）
 - ②1画像 + 1ワークブック
 - ③2画像
 - ④3画像
 - ⑤4画像

3 ギャラリーから画像やチャートを選択する



「画像」や「ワークブック」を選択し、ドラッグ&ドロップで移動させます

- ・画像やワークブックは必ず、テンプレートの右側に配置してください
- ・選択したテンプレートに必要な枚数の画像やワークブックを選択してください

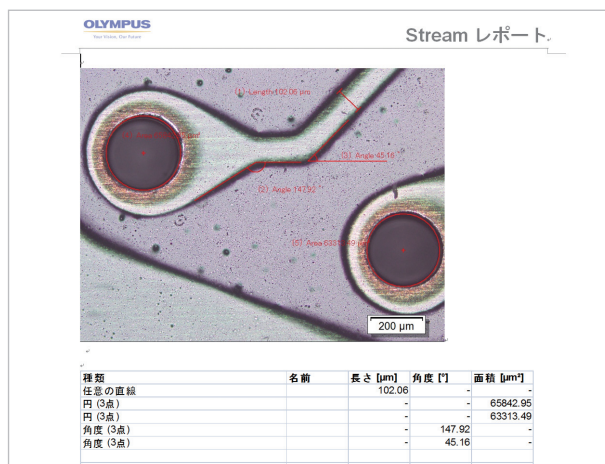
ギャラリー

・[ギャラリー] が表示されない場合は、[ビュー] → [ツールウィンドウ] → [ギャラリー] を選択します

4 レポートを作成する



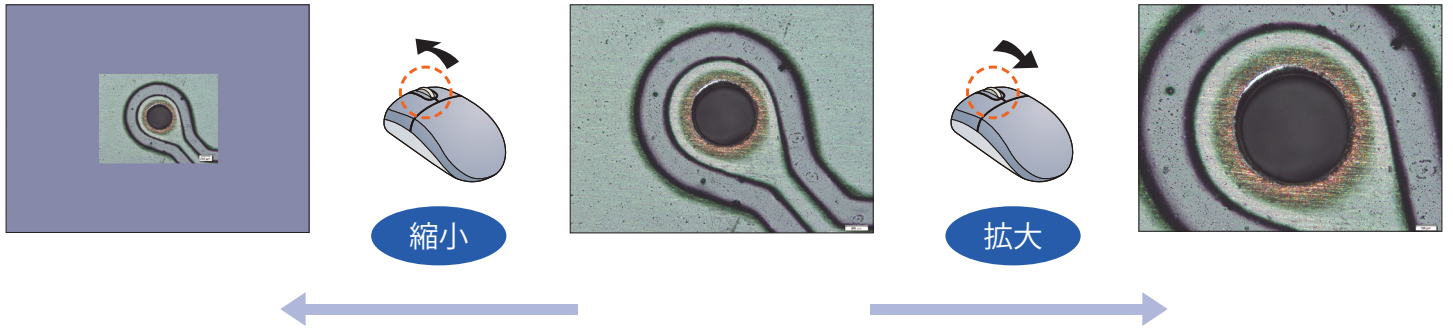
[作成] ボタンをクリックします



- ・レポートが表示されます
- ・Word上で画像をダブルクリックすると、レポートを編集することができます

ヒント1

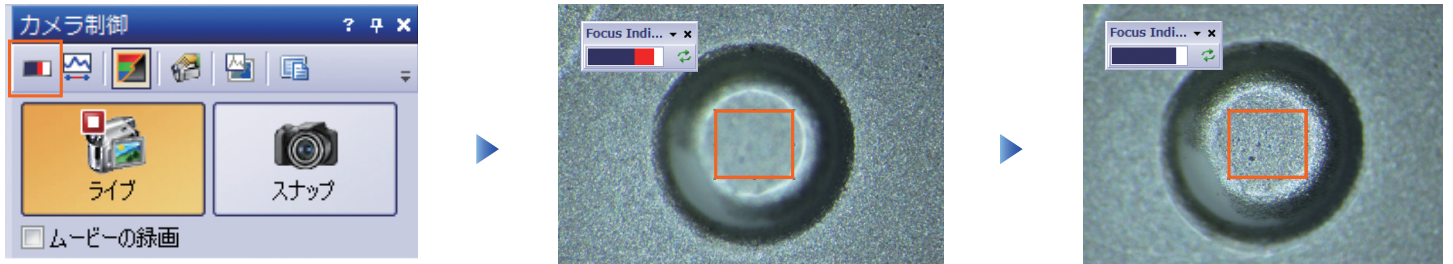
マウスホイールで画像を拡大・縮小表示する



- 拡大した画像が画像ウィンドウより大きい場合は、 (パン) をクリックし、画像上で上下左右にドラッグすると、画像の表示位置を変更することができます
- [ビュー] → [ツールウィンドウ] → [画像ナビゲータ] を選択すると、拡大・縮小表示した画像の表示位置を [画像ナビゲータ] で確認できます

ヒント2

フォーカスインジケータで焦点を合わせる



- (フォーカスインジケータ) をクリックします
- 画面左上にインジケータが表示されます
- 焦点を合わせる範囲を選択できます
- インジケータの表示を確認しながら、粗微動ハンドルを回して焦点を合せます

《フォーカスインジケータ》

- 赤い部分の面積が小さくなるように、粗微動ハンドルを回します
- 赤の部分が無くなったときが、最も焦点があっている状態です

OK

焦点が合っている状態

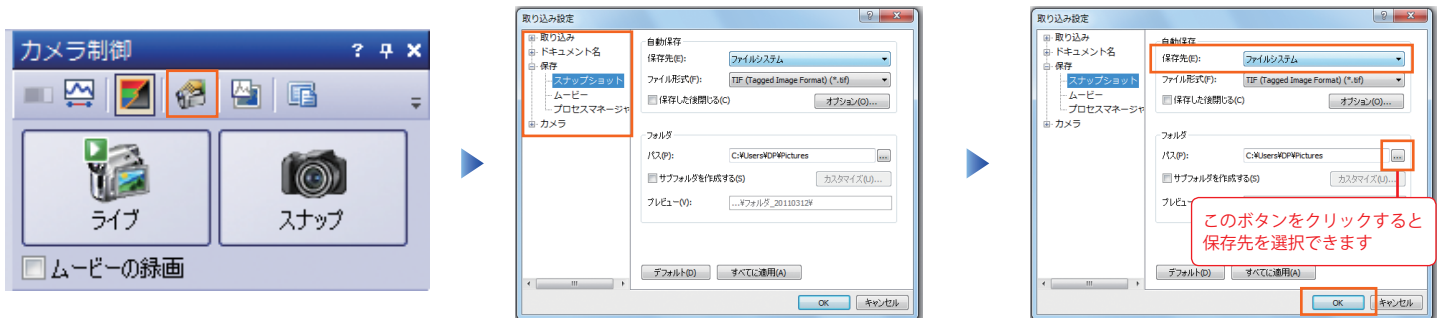
要調整

焦点の調整がさらに必要な状態

ヒント3

指定フォルダへの画像保存

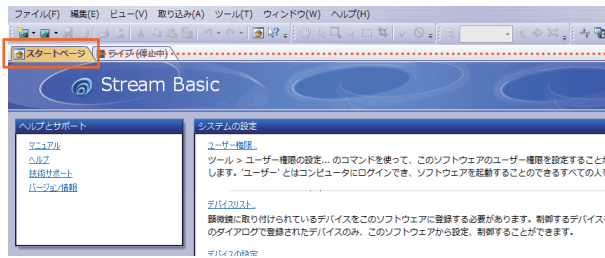
以下の操作を行うことで、あらかじめ指定したフォルダに画像を自動的に保存することができます



- [カメラ制御] の (取り込み設定) をクリックします
- [保存] → [スナップショット] を選択します
- [保存先] にて [ファイルシステム] を選択します
- [パス] にて画像の保存先を選択します
- [OK] ボタンをクリックします

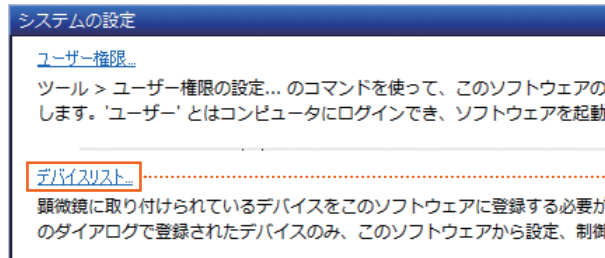
ヒント4 設定の変更

1 システムの設定ダイアログを開く



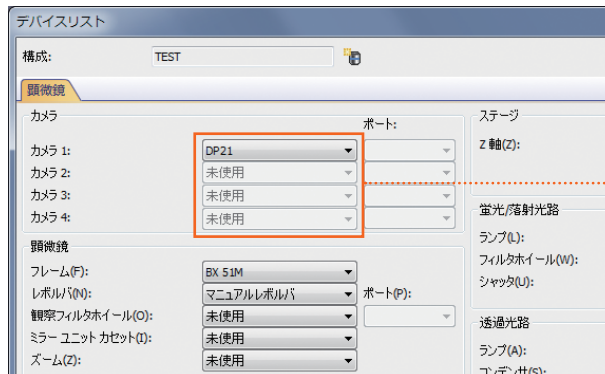
[スタートページ] タブをクリックします

2 デバイスリストダイアログを開く



[デバイスリスト] をクリックします

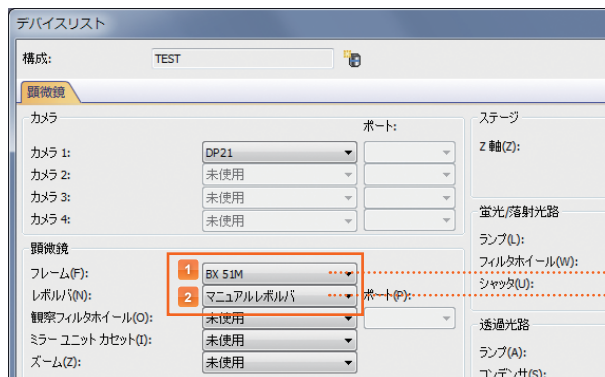
3 カメラを選択する



使用しているデジタルカメラを選択します

・ここでは、DP21を選択しています

4 顕微鏡を選択する

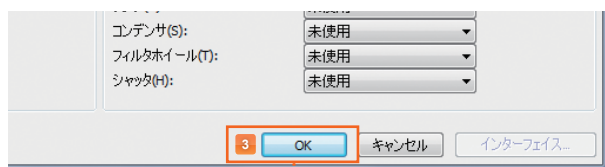


1 使用している顕微鏡を選択します

・ここでは、BX51Mを選択しています

2 使用しているレボルバを選択します

・ここでは、マニュアルレボルバを選択しています



3 [OK] ボタンをクリックします

5 デバイスの設定 ダイアログを開く

システムの設定

ユーザー権限...
ツール > ユーザー権限の設定... のコマンドを使って、このソフトウェアのインストールを行います。'ユーザー' とはコンピュータにログインでき、ソフトウェアを起動...

デバイスリスト...
顕微鏡に取り付けられているデバイスをこのソフトウェアに登録する必要があります。このダイアログで登録されたデバイスのみ、このソフトウェアから設定、制御...

デバイスの設定...
システムには通常、カメラ、顕微鏡、ステージなど複数の異なるデバイスがインストールされています。デバイス設定... によってデバイスを設定してください。デバイス設定...

[デバイスの設定] をクリック
します

- この画面が表示されない場合は、
6に進んでください

6 画像形式を選択する

デバイスの設定

構成: TEST | ab1 X | ...

カメラ: DP21

1 [カメラ] をクリック

2 [ビット深度] を選択

3 [色設定] を選択

画像形式(T)
ビット深度(B): 8ビット RGB カラー
色設定(M): 色 1

カメラ反転
[] 水
[] 鏡
[] 逆

擬似カラー
8ビット RGB カラー
色 1
タイプのみ
擬似カラー
デフォルト

- [カメラ] をクリックします
 - [ビット深度] を選択します
 - [色設定] を選択します
- ここでは、8ビットRGBカラーを選
択しています
 - ここでは、色1 (DP21の場合) を
選択しています

7 TVアダプタを選択する

デバイスの設定

構成: TEST | ab1 X | ...

カメラ: DP21

1 [TVアダプタ] をクリック

2 0.50

倍率(M): 0.50 x

TVアダプタ

- [TVアダプタ] をクリック
します
 - 使用するTVアダプタの倍率
を選択します
- ここでは、0.50を選択しています

8 対物レンズを選択する

デバイスの設定

構成: TEST | ab1 X | ...

カメラ: DP21

1 [マニュアルレボルバ] を
クリック

2 使用する対物レンズを
選択

3 [OK] ボタンをクリック

位置	倍率	対物レンズの種類	説明	NA	視野率
1	5	MPLFLN BD	5x	0.15	空席 (1.00)
2	10	MPLFLN BD	10x	0.3	空席 (1.00)
3	20	MPLFLN BD	20x	0.45	空席 (1.00)
4	50	MPLFLN BD	50x	0.8	空席 (1.00)
5	100	MPLFLN BD	100x	0.9	空席 (1.00)
		フー		0.001	
		フー		0.001	
		フー		0.001	

- [マニュアルレボルバ] を
クリックします
- 使用する対物レンズを
選択します
- [OK] ボタンをクリックします

※Microsoft WordとMicrosoft Excelはアメリカ合衆国およびその他の国におけるマイクロソフト株式会社の登録商標です。
その他全ての企業名と製品名はそれぞれの所有者の登録商標または商標です。